

定期作況報告

平成23年5月（訂正版）
（5月20日現在）

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

1) 前年9月以降の経過

9月：上旬の最高気温は平年より極めて高く、最低気温、平均気温はともに平年より高かった。中旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。下旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。日平均気温の月平均は16.1℃で平年より1.1℃高かった。降水量は上旬が平年よりやや少なく、中旬・下旬は平年より少なかった（月合計69.5mmで平年の58%）。日照時間は上旬・中旬が平年よりやや多く、下旬は平年並であった（月合計171.3時間で平年の114%）。

10月：上旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年よりやや高かった。中旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年より高く、平均気温は平年並であった。下旬の最高気温、最低気温はともに平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。日平均気温の月平均は8.9℃で平年より0.4℃高かった。降水量は上旬・中旬が平年よりやや少なく、下旬は平年並であった（月合計61.5mmで平年の83%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年より少なく、下旬は平年よりやや多かった（月合計162.3時間で平年の101%）。

11月：上旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。中旬の最高気温は平年より極めて高く、最低気温、平均気温はともに平年よりやや高かった。下旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年より極めて高かった。日平均気温の月平均は2.5℃で平年より1.3℃高かった。降水量は上旬が平年より極めて多く、中旬は平年より少なく、下旬は平年並であった（月合計58.5mmで平年の136%）。日照時間は上旬が平年より少なく、中旬は平年より多く、下旬は平年並であった（月合計143.7時間で平年の108%）。

2) 根雪期間中の経過

12月：上旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年より極めて高かった。中旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年よりやや高かった。下旬の最高気温は平年より高く、最低気温、平均気温はともに平年より極めて高かった。日平均気温の月平均は-3.9℃で平年より3.1℃高かった。降水量は上旬が平年より極めて多く、中旬が平年よりやや多く、下旬は平年より少なかった（月合計83.5mmで平年の169%）。日照時間は上旬が平年よりやや少なく、中旬・下旬は平年並であった（月合計122.4時間で平年の97%）。

1月：上旬の最高気温は平年より極めて低く、最低気温、平均気温はともに平年よりやや低かった。中旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。下旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。日平均気温の月平均は-10.5℃で平年より1.0℃低かった。降水量は上旬が平年より少なく、中旬は平年よりやや多く、下旬は平年より少なかった（月合計25.5mmで平年の48%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年よりやや多く、下旬は平年並であった（月合計136.3時間で平年の107%）。

2月：上旬の最高気温は平年より極めて高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年よりやや高かった。中旬の最高気温は平年より高く、最低気温、平均気温はともに平年よりやや高かった。下旬の最高気温は平年より高く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年より高かった。日平均気温の月平均は-7.3℃で平年より1.4℃高かった。降水量は上旬が平年より少なく、中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年より少なかった（月合計15.5mmで平年の44%）。日照時間は上旬が平年よりやや多く、中旬は平年並で、下旬は平年よりやや多かった（月合計165.0時間で平年の119%）。

3月：上旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温、平均気温はともに平年並であった。中旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。下旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年より低かった。日平均気温の月平均は-3.4℃で平年より0.4℃低かった。降水量は上旬・中旬・下旬ともに平年より少なかった（月合計9.0mmで平年の21%）。日照時間は上旬・中旬が平年並で、下旬は平年より多かった（月合計197.3時間で平年の121%）。

3) 融雪期以降の経過

4月：上旬の最高気温は平年より極めて高く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年より極めて高かった。中旬の最高気温は平年より低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。下旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。日平均気温の月平均は4.7℃で、平年より0.6℃高かった。降水量は上旬が平年より少なく、中旬は平年並で、下旬は平年より極めて多かった（月合計67.0mmで平年の149%）。日照時間は上旬が平年より多く、中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年並であった（月合計167.1時間で平年の101%）。

5月：上旬の最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年より極めて低かった。中旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年より低かった。降水量は上旬が平年並で、中旬は平年より多かった。日照時間は上旬が平年よりやや少なく、中旬は平年並であった。

なお、根雪始は平年より3日遅い12月7日、融雪期は平年より3日早い4月7日で、根雪期間は平年より6日間短い122日間であった。耕鋤始は平年より9日遅い5月6日であった。

注) 降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、平年比±20%を平年並み、±20～40%を平年よりやや多い（少ない）、±40～100%を平年より多い（少ない）、+100%以上を平年より極めて多い、とした（平成17年10月より表現方法を改訂）。

4) 季節表

項目 年次	前年 初霜 月.日	前年 降雪始 月.日	前年 根雪始 月.日	融雪期 月.日	根雪期間 日数	耕鋤始 月.日	降雪終 月.日	晩霜 月.日
本年	平成22年 10.18	10.26	12.7	平成23年 4.7	122	5.6	5.2	5.16
平年	10.10	10.31	12.4	4.10	128	4.27	5.2	5.12
比較	8	△5	3	△3	△6	9	0	4

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

5) 気象表

月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
9	上	19.6	17.3	2.3	25.3	22.4	2.9	14.6	12.3	2.3	39.0	57.7	△18.7	57.0	44.9	12.1
	中	16.8	15.6	1.2	22.3	21.1	1.2	12.2	10.2	2.0	20.5	37.1	△16.6	58.0	47.9	10.1
	下	11.7	12.3	△0.6	17.2	18.3	△1.1	6.2	6.5	△0.3	10.0	24.7	△14.7	56.3	58.0	△1.7
10	上	12.2	11.0	1.2	17.8	16.8	1.0	7.3	6.0	1.3	36.0	47.6	△11.6	54.7	48.3	6.4
	中	9.1	8.6	0.5	14.8	15.0	△0.2	4.6	2.7	1.9	10.5	13.3	△2.8	34.0	58.7	△24.7
	下	5.6	6.2	△0.6	12.7	12.2	0.5	0.4	0.7	△0.3	15.0	13.1	1.9	73.6	53.9	19.7
11	上	4.6	4.6	0.0	9.2	10.4	△1.2	0.3	-0.7	1.0	46.0	13.5	32.5	26.0	46.8	△20.8
	中	1.5	0.7	0.8	8.2	5.6	2.6	-3.1	-3.7	0.6	3.0	17.9	△14.9	65.5	39.5	26.0
	下	1.5	-1.5	3.0	6.6	3.8	2.8	-3.4	-6.4	3.0	9.5	11.5	△2.0	52.2	46.4	5.8
12	上	0.0	-5.2	5.2	4.1	0.2	3.9	-4.2	-10.6	6.4	57.0	12.3	44.7	32.3	42.3	△10.0
	中	-5.6	-6.9	1.3	-0.3	-1.4	1.1	-11.2	-12.4	1.2	24.5	17.6	6.9	43.6	38.9	4.7
	下	-5.8	-8.6	2.8	-1.1	-2.7	1.6	-11.3	-14.8	3.5	2.0	19.4	△17.4	46.5	45.0	1.5
1	上	-9.9	-8.7	△1.2	-5.1	-2.6	△2.5	-15.5	-14.7	△0.8	3.0	21.4	△18.4	35.9	38.0	△2.1
	中	-10.9	-10.5	△0.4	-3.9	-4.6	0.7	-17.5	-16.5	△1.0	17.5	14.2	3.3	52.6	40.2	12.4
	下	-10.6	-9.3	△1.3	-4.6	-3.4	△1.2	-16.4	-15.9	△0.5	5.0	17.5	△12.5	47.8	49.7	△1.9
2	上	-8.6	-9.6	1.0	-0.9	-3.4	2.5	-17.0	-16.3	△0.7	0.0	4.1	△4.1	63.7	49.9	13.8
	中	-7.8	-9.3	1.5	-1.5	-3.2	1.7	-14.5	-15.9	1.4	11.5	18.2	△6.7	45.1	43.0	2.1
	下	-5.0	-7.0	2.0	1.4	-0.7	2.1	-13.1	-14.3	1.2	4.0	13.3	△9.3	56.2	45.8	10.4
3	上	-5.5	-6.0	0.5	0.2	-0.4	0.6	-12.6	-12.8	0.2	2.5	17.9	△15.4	55.6	50.6	5.0
	中	-2.3	-2.6	0.3	3.2	2.8	0.4	-8.4	-9.1	0.7	3.5	11.4	△7.9	53.7	53.9	△0.2
	下	-2.3	-0.7	△1.6	3.6	4.0	△0.4	-8.6	-5.8	△2.8	3.0	13.4	△10.4	88.0	58.1	29.9
4	上	4.3	1.7	2.6	11.5	6.9	4.6	-2.7	-3.7	1.0	0.0	11.4	△11.4	84.7	54.0	30.7
	中	3.9	4.8	△0.9	9.3	11.0	△1.7	-0.6	-0.9	0.3	12.5	13.7	△1.2	38.8	59.9	△21.1
	下	6.0	5.9	0.1	11.8	11.9	△0.1	1.1	0.2	0.9	54.5	19.9	34.6	43.6	51.9	△8.3
5	上	5.9	8.7	△2.8	10.3	15.6	△5.3	2.4	2.0	0.4	20.0	17.3	2.7	39.2	54.4	△15.2
	中	8.6	10.7	△2.1	15.6	17.4	△1.8	2.2	4.3	△2.1	19.5	13.0	6.5	59.6	55.1	4.5

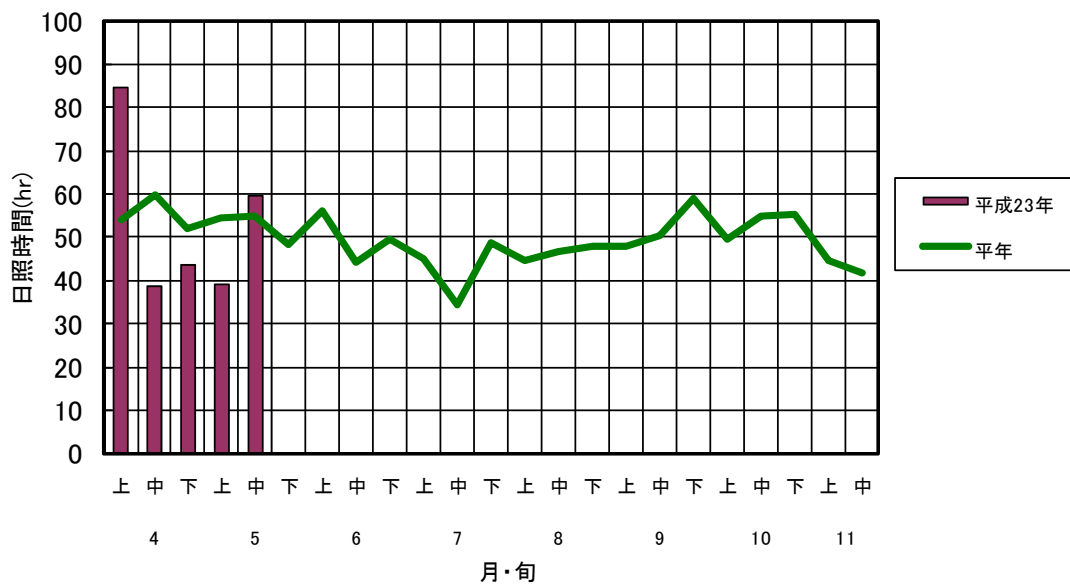
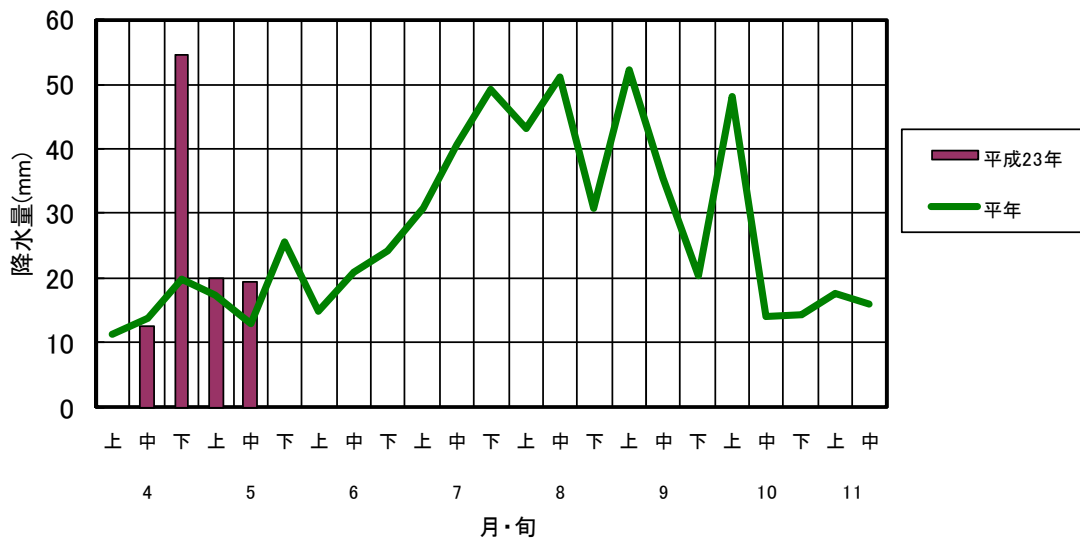
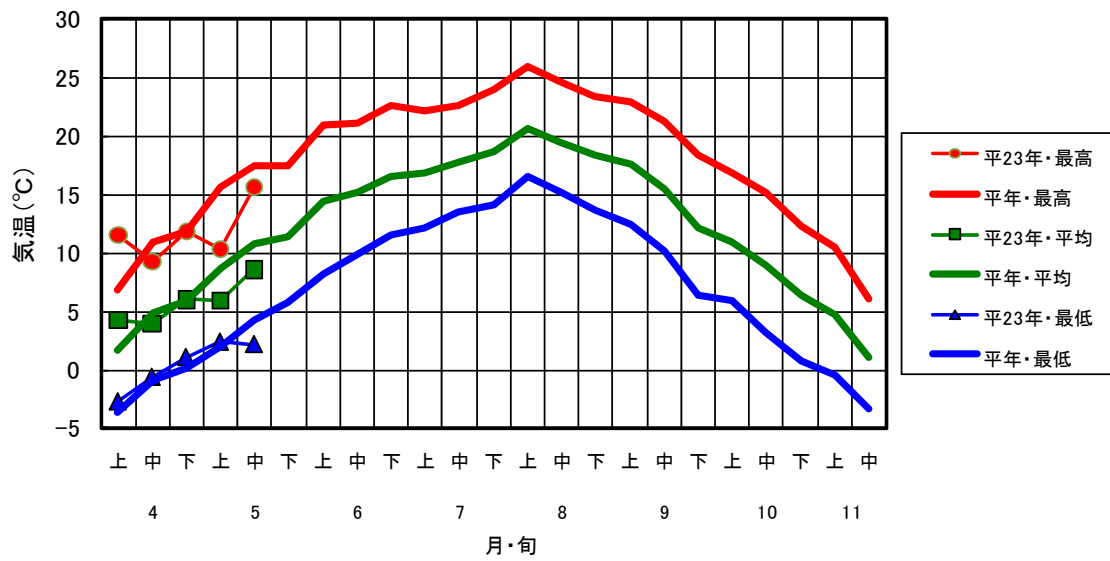
注) 観測値は気象庁ホームページの気象統計情報で公開している置戸町境野のアメダスによる。

観測統計の解説は<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetu/index.html>を参照。

本年の値は確定前の速報値を含む。平年値は前10か年の平均値である。

なお、10月中旬の日照時間、12月下旬の降水量、3月下旬の平均気温・最高気温・最低気温・降水量・日照時間は信頼性がやや劣る準正常値である。

6) 気象経過のグラフ



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：やや良

事由：播種は平年より1日早い9月16日に行った。出芽期は平年より1日早い9月24日に出芽は良好であった。出芽期以降の平均気温は概ね平年並からやや高め、降水量は概ね平年並みからやや少なめに推移した。越冬前の草丈は平年より高く、茎数は平年並であった。根雪始は平年より3日遅く、根雪期間は平年より6日短かった。調査圃場は融雪剤を散布したため、観測点より2週間程度融雪が早まった。雪腐病の発生はごく軽微であった。融雪期以降、4月の気温は上旬が極めて高く、その後も概ね平年並みに推移したことから生育は進んだが、5月に入り低温が続き生育はやや停滞している。草丈は平年よりやや高く、茎数は平年よりやや多い。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ホクシン			きたほなみ(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (平成22年月.日)	9.16	9.17	△1	9.16	9.16	0
出芽期 (平成22年月.日)	9.24	9.25	△1	9.24	9.24	0
草丈(cm) (平成22年11月20日)	24.5	17.3	7.2	24.5	18.7	5.8
草丈(cm) (平成23年5月20日)	43.1	39.1	4.0	38.8	35.4	3.4
茎数(本/m ²) (平成22年11月20日)	1669	1661	8	1621	1684	△63
茎数(本/m ²) (平成23年5月20日)	1553	1360	193	1664	1543	121

注) 「ホクシン」の平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、18年(最凶)を除く5か年の平均。

注) 「きたほなみ(参考)」の平年値は前6か年の平均。

2) 春まき小麦 作 況 : 平年並

事 由 : 融雪期は平年より3日早い4月7日であったが、調査圃場は融雪剤散布により2週間程度融雪が早まった。播種期は平年より2日早い4月18日であった。播種後、4月下旬の気温は平年並に推移し、出芽期は平年より1日早かった。出芽後、5月上中旬は低温が続いたことから、草丈、茎数は平年をやや下回っているが、生育はほぼ順調である。以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			ハルユタカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	4.18	4.20	△ 2	4.18	4.20	△ 2
出芽期 (月.日)	5.4	5.5	△ 1	5.4	5.5	△ 1
草丈(cm) (5月20日)	12.6	15.2	△ 2.5	11.8	14.7	△ 2.9
茎数(本/m ²) (5月20日)	328	386	△ 59	332	382	△ 50

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

3) てんさい 作 況 : やや不良

事 由 : 移植栽培の播種は平年より2日遅い3月23日に行い、育苗中の生育は順調であった。移植は平年より2日早い5月6日に行った。移植後に適度な降水があり活着は良好であったが、5月中旬の低温により生育は停滞気味である。直播栽培では、播種は平年より2日早い5月6日に行った。播種後低温に経過したため、出芽期は平年より1日遅かった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.23	3.21	2	3.23	3.21	2	5.6	5.8	△2
移植期 (月.日)	5.6	5.8	△2	5.6	5.8	△2	—	—	
出芽期 (月.日)	—	—		—	—		5.20	5.19	1
草丈 (cm)	4.4	4.5	△0.1	4.2	4.4	△0.2	—	—	
生葉数 (枚)	4.4	4.0	0.4	3.8	3.8	0.0	—	—	

注) 播種期、移植期および出芽期の平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。草丈および生葉数は、平成22年から調査開始のため、平年値は22年の値である。

4) 牧草(チモシー)

作況: 平年並

事由: 融雪期は平年より3日早い4月7日であったが、融雪後4月中旬の気温が平年よりやや低かったため、萌芽期は平年より1日遅い4月23日であった。冬損程度は平年並、被度は100%で、草丈は平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
萌芽期 (月. 日)	4. 23	4. 22	1
冬損程度	1. 0	1. 7	△ 0. 7
被度(%) (5月18日)	100	100	0
草丈(cm) (5月18日)	30	33	3

注) 平年値は前7か年中、平成16年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

冬損程度は1:無または微~9:甚。

5) たまねぎ 作 況：平年並

事 由：播種は、早生種「改良オホーツク1号」では平年より3日早い3月3日、晩生種「スーパー北もみじ」では平年より2日早い3月9日に行った。播種後の平均気温は平年並みであったが、最低気温は平年よりやや高く、出芽期は、両品種とも平年より4日早かった。育苗期間中は、4月上旬の平均気温は極めて高く、中旬以降は平年並みから低温に推移したものの、苗の生育は概ね順調であった。移植は、「改良オホーツク1号」は平年より4日遅い5月12日、「スーパー北もみじ」は平年並みの5月12日に行った。移植時の苗質は、両品種ともほぼ平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3. 3	3. 6	△ 3	3. 9	3.11	△ 2
出芽期 (月.日)	3.15	3.19	△ 4	3.20	3.24	△ 4
移植期 (月.日)	5.12	5. 8	4	5.12	5.12	0
草丈(cm) 移植時	28.9	25.5	3.4	23.2	24.6	△1.4
生葉数(枚) 移植時	3.2	3.2	0	3.3	3.2	0.1
葉鞘径(mm) 移植時	4.1	4.1	0	4.2	4.0	0.2

注) 平年値は前8か年中、平成17年(最豊)、20年(暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株 本数	播種粒数 (粒/㎡)	播種量 (kg/10a)	株数 (株/10a)
1. 秋まき小麦	7.2	4	緑肥大豆	30.0	条播	-	255	-	-
2. 春まき小麦	7.2	4	緑肥大豆	30.0	条播	-	340	-	-
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	-	-	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥そば	60.0	20.0	2	-	-	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥そば	60.0	20.0	2	-	-	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥そば	60.0	20.0	2	-	-	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	緑肥えん麦	75.0	30.0	1	-	-	4,444
8. てんさい	39.6	3	緑肥野生えん麦	60.0	23.8	1	-	-	7,003
9. 牧草 (チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	-	-	2.0	-
10. たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	-	-	31,750

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量(kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	6.0	20.0	9.7	3.8	3,000	起生期追肥 N:3.0	2年目草地 年間3回分施
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0		炭カル:150	
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0			
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0			
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0			
6. 菜豆	4.0	17.3	8.0	3.3			
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0			
8. てんさい	13.8	27.5	11.3	5.0			
9. 牧草 (チモシー)	15.0	15.0	15.0	2.3			
10. たまねぎ	15.0	30.0	15.0	3.5			

平成21年、22年北見農試定期作況報告における季節表の訂正について

○平成21年定期作況報告（5月20日）

1. 気象経過 3) 融雪期以降の経過 10行目を下記のとおり訂正
 なお、根雪始は平年より17日遅い → なお、根雪始は平年より22日遅い

1. 気象経過 4) 季節表
 根雪始の平年12.4を11.29に、比較17を22に訂正
 根雪期間の平年132を133に訂正
 降雪終の平年5.1を4.30に、比較13を14に訂正

4) 季節表

項目 年次	初霜 月・日	降雪始 月・日	根雪始 月・日	融雪期 月・日	根雪期間 日数	耕鋤始 月・日	降雪終 月・日	晩霜 月・日
本年	H20年 9.28	10.17	12.21	H21年 4.9	110	4.20	5.14	4.25
平年	10.10	10.31	11.29	4.11	133	4.24	4.30	5.12
比較	△12	△14	22	△2	△23	△4	14	△17

2. 当場の作況 1) 秋まき小麦 事由4行目を下記のとおり訂正
 根雪始は平年より17日遅く → 根雪始は平年より22日遅く

○平成21年定期作況報告（11月20日・最終）

1. 気象経過 4) 季節表
 根雪始の平年12.4を11.29に、比較17を22に訂正
 晩霜の平年5.10を5.12に、比較△15を△17に訂正

4) 季節表

項目 年次	前年 根雪始 月日	融雪 期 月日	根雪 期間 日数	耕鋤 始 月日	降雪 終 月日	晩霜 月日	初霜 月日	無霜 期間 日数	降雪 始 月日	農耕期間の積算(5～9月)		
										平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
本年	H20年 12.21	4.9	110	4.20	5.14	4.25	10.12	169	10.31	2368.7	451.5	737.0
平年	11.29	4.11	133	4.24	4.30	5.12	10.9	149	10.29	2402.3	456.9	716.1
比較	22	△2	△23	△4	14	△17	3	20	2	△33.6	△5.4	20.9

○平成22年定期作況報告（11月20日・最終）

1. 気象経過 4) 季節表

晩霜の本年5.15を5.31に、比較5を21に訂正

無霜期間の本年155を139に、比較3を△13に訂正

4) 季節表

項目 年次	前年 根雪始 月日	融雪 期 月日	根雪 期間 日数	耕鋤 始 月日	降雪 終 月日	晩霜 月日	初霜 月日	無霜 期間 日数	降雪 始 月日	農耕期間の積算(5~9月)		
										平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
本年	H21年 12.11	4.11	122	4.19	4.29	5.31	10.18	139	10.26	2607.0	491.0	788.9
平年	12.4	4.11	129	4.23	5.2	5.10	10.10	152	10.31	2385.1	463.6	718.3
比較	7	0	△7	△4	△3	21	8	△13	△5	221.9	27.4	70.6